

下町河川 Tomorrow

東京都の江東内部河川流域連絡会の情報紙（会議録）

平成25年3月15日（金）

第46回（第7期第4回）江東内部河川流域連絡会を開催



会議の様子

- ・「第46回（第7期第4回）江東内部河川流域連絡会」を、午後2時から午後4時30分の約2時間30分、江東区東大島文化センター・3階第1会議室にて開催しました。
- ・都民委員19名と行政委員11名が参加しました。⇒名簿は6ページ
- ・水位低下河川の水循環、江東内部河川の水質、東京都下水道事業等の説明後、質疑応答を行いました。また、都民委員からの情報提供が行われました。

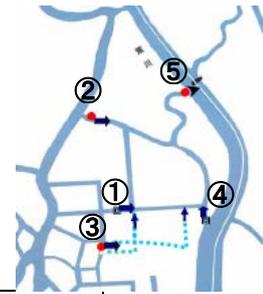
議題及び情報提供

1. 行政委員（東京都）からの情報提供・話題提供

- 東京都建設局河川部及び下水道局等より、①水位低下河川の水循環、②江東内部河川の水質測定結果、③水位低下河川の生き物、④東京都下水道事業・経営計画 2013 等について説明があり、その後質疑応答が行われました。

(1) 水位低下河川の水循環

- 江東内部河川東側の水位低下した河川は、基本的に流れがない。閉鎖的な水域の水質維持のため、扇橋閘門等 4 箇所（図中①～④）から維持浄化用水を流入させる一方、平常時水位 A.P.-1.0m を維持するため、木下川排水機場（図中⑤）から荒川へ排水している。水位低下河川の水は約 3.5 日で入れ替わる。



①扇橋サイフォン等	7.5 万トン	③仙台堀川親水公園	12.5 万トン
②北十間川樋門	3.3 万トン	④荒川ロックゲート	0.7 万トン

図 河川流入箇所と、各箇所からの平均流入量

(2) 江東内部河川の水質及び生息生物

- 平成 23 年度の水質測定結果では、代表的な水質汚濁指標の一つである BOD（生物化学的酸素要求量）と、SS（浮遊物質）では、江東内部河川全川で環境基準を達成している。DO（溶存酸素）は魚介類の生存に必要とされる 3 mg/L を下回る年もあるが、徐々に改善されてきている。
- このような環境下で、ボラ、マハゼ、スズキ等の汽水魚やギンブナ等が生息している。

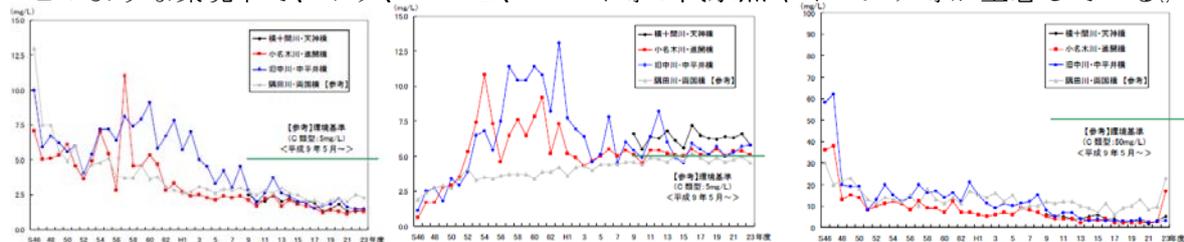


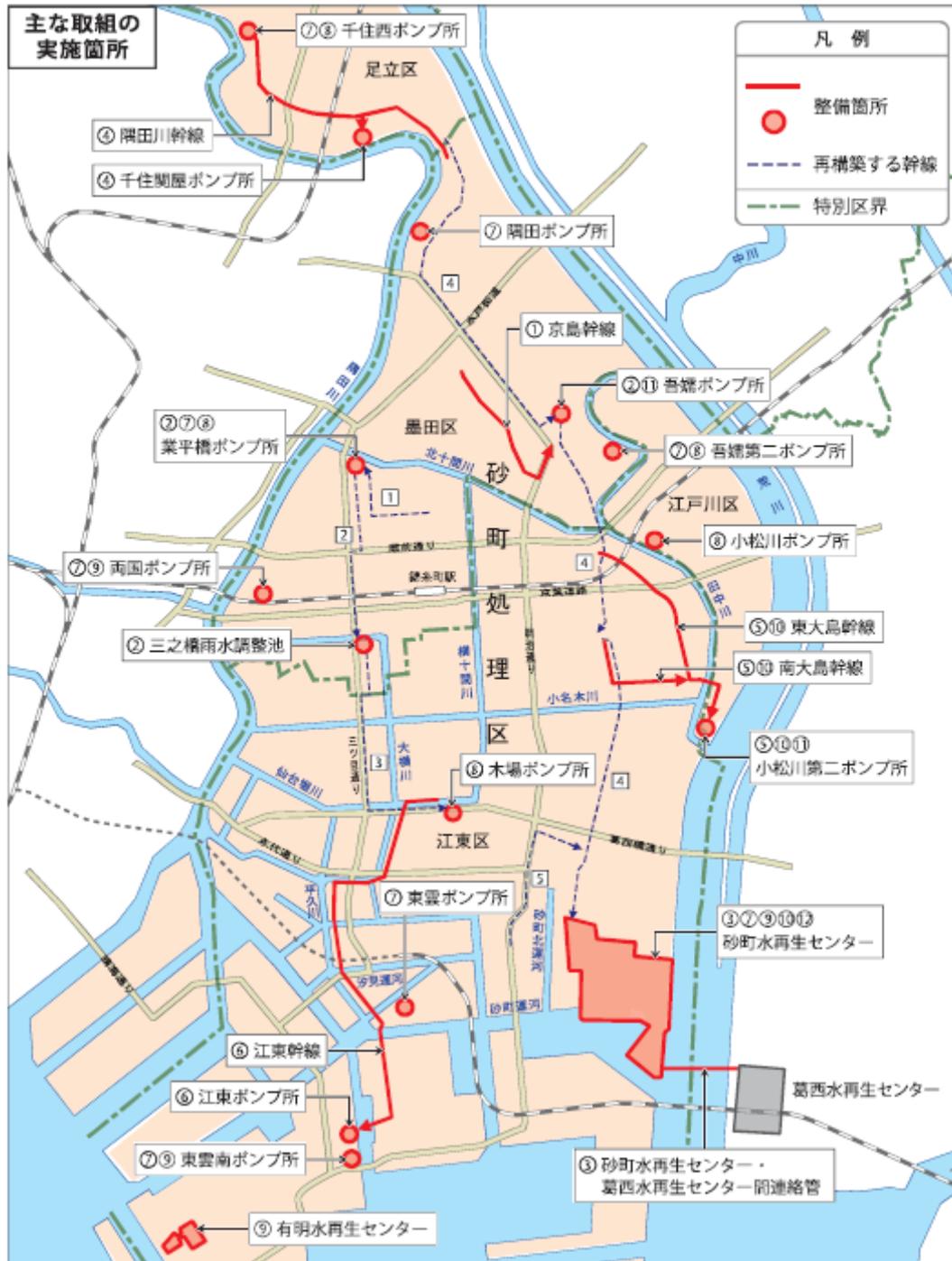
図 BOD (左)、DO (中)、SS (右) の年度平均値 (S46~H23) の推移

(3) 東京都下水道事業・経営計画 2013

- 今後の 3 ヶ年における下水道事業計画を策定した。この中で合流式下水道の改善をとりあげている。改善方策として、雨水貯留施設や高速ろ過施設の整備、雨水吐口対策などにより、雨水時のごみなどの流出や放流水の汚濁負荷量を減らす計画である。
- 江東内部河川のある江東三角地域は、下水道事業では砂町処理区となる。砂町処理区内、特に旧中川沿いでは、吾婦第二ポンプ所での施設耐震化・耐水化、小松川ポンプ所での耐水化、小松川第二ポンプ所での浸水対策、合流下水道の放流先の変更や貯留施設の整備等にとりくんでいる。

地域特性を反映した重点的取組（砂町処理区）

（墨田、江東区の全部。中央、港、品川、足立、江戸川区の一部。）



施策	内容等
再構築	①代替幹線の整備、②ポンプ所の再構築、③水再生センターの再構築
浸水対策	④～⑥対策促進地区の整備
震災対策	⑦施設の耐震化、⑧施設の耐水化、⑨非常用発電設備や NaS 電池の整備
合流式下水道の改善	⑩放流先の変更、⑪貯留施設の整備、⑫高速ろ過施設の整備

■質疑応答

◆都民委員 ◇行政委員

《水質について》

◆水質改善のため、浚渫はどこから何年かけて行うのか。

◇内部河川について河床測量をしてみると、堆積土がそれほど多くないことからここ数年は浚渫する予定はありません。

◆私が配布した資料によると、砂町処理区で豪雨時に雨水放流されている河川は旧中川だけである。その際の放流は時間雨量50mmではなく、20mm程度で放流が始まり、年間20回以上放流されている。一方、江東内部河川の水の入れ替わりが3.5日ということであったが、流れにすると時速10cmであり、流れとは呼べない。水質データをみると、特段悪いわけではない。しかし、雨水時の放流がある旧中川では、放流後の水中の大腸菌が著しく高くなり、水質が悪化している。今後とも、旧中川の水質対策については特段の配慮をしてほしい。



◇雨水放流については、時間雨量50mmの場合に街中に浸水がおきないための対策をしているということであり、雨水放流はそれ以前から始まっています。今後小松川第二ポンプ所が整備されれば、荒川へ直排化され、旧中川への雨水放流もなくなります。

◆子どもの頃比べると水質は各段とよくなったが、水の中で遊ぼうとした場合、よりきれいにする必要があります。現状の合流式下水道を分流式下水道へできないか。

◇合流式下水道から分流式下水道への転換は、再開発事業のような箇所では可能です。江東三角地域では分流雨水専用のポンプ所を整備しなければいけないので困難です。

◇大腸菌は毒という訳ではありません。海水浴場等の大腸菌の基準をあてはめると、現在の水質でも「水浴可」というレベルになります。これは泳ぐというよりも、手や足を入れられるレベルではあるということです。

◆提案だが、雨水を下水に流下させず、ビルや地域で使う方法も考えられると思う。

◆生物調査で、数の数え方はどのようにしているのか。

◇河川に生育・生息する生物の調査方法については、全国で統一された調査方法がありません。それに則り、専門会社へ委託して実施しています。

《その他》

◆横十間川沿いのマンションに住んでいるが、今後の工事について、工事予定の周知、事前説明会の有無、事前の建物影響調査の可能性、敷地内にある護岸の確認等について、検討してほしい。

◇お住まいになられているマンションに関する事項ですので、この場ではなく、個別に対応させていただきます。

◆横十間川の河川整備では、以前ダイオキシンを封じ込めたところがある。今回の工事ではどのように対応するのか。

◇現在検討段階です。ダイオキシンの対策箇所に手を加えて再度工事をする場合には地元説明会を開催します。

2. 都民委員からの情報提供・話題提供

(1) 川の駅に駅がある

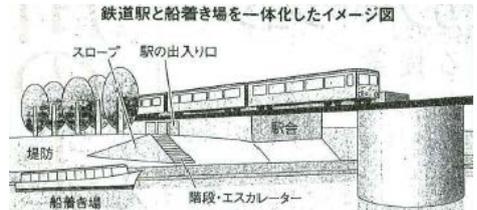
都営地下鉄東大島駅について、次のように報告・提案がありました。

① 駅舎は川の上に駅がある珍しい駅だが、ホームから川は意識できない。

② 古い駅舎を全面ガラス張りでリノベーションして、「川と駅がとけ合う風景」にしてはどうか。

③ そのイメージ図が平成10年8月の新聞にも掲載されている。

(図は、旧建設省が示した鉄道駅と船着場を一体化した交通拠点の整備に取り組む考え方をイメージ化したもの)



(2) お江戸深川さくらまつり

さくらまつりは、大横川（黒船橋から東富橋の間）をメイン会場とし、江東区高橋周辺や東京海洋大学等で、平成25年3月30日（土）～4月21日（日）開催します。

メイン会場を中心に模擬店・展示・ワークショップ等が開催されること、日本橋、黒船橋、高橋等を結ぶ周遊船を運航することが報告されました。

(3) 旧中川ポートフェスティバル 2013

4月14日（日）10時より旧中川（もみじ大橋～さくら大橋）において、標記イベントが開催されます。当日は、ドラゴンボート体験、ボート体験、カヌー体験、Eボート体験等が体験できることが報告されました。

(4) 石田波郷生誕百年記念碑

石田波郷は、1913（大正2）年、愛媛県松山市に生まれの俳人で、「戦後の俳壇を先導し、わが国の俳句文学に大きな功績を残し、昭和の俳聖」と呼ばれています（配布資料より）波郷は昭和21年から約12年間北砂町に住み、「第二の故郷」と呼んでおりました。

2013年が生誕100年にあたることから、北砂の新開橋南詰・小名木川湖畔に「石田波郷百年碑」を建設し、3月10日に除幕式を開催したことが報告されました。



■ 流域連絡会の今後の予定

今回は6月頃に、舟運をテーマとして開催予定です。

江東内部河川流域連絡会・委員名簿

◎ 座長

		住 所 ・ 団 体 名	氏 名
都 民 委 員	個 人	墨田区	岩井 希義
		墨田区	小久保 健司
		墨田区	篠崎 哲夫
		墨田区 (在勤)	正岡 久武
		江東区	菊地 進一
		江東区	黒木 正幸
		江東区	渡邊 晶子
		江戸川区	石田 正博
		江戸川区	大森 英一
		江戸川区	金子 蔵
		江戸川区	菅原 資子
		江戸川区	高野 祐子
		江戸川区	山内 久二
		江戸川区	吉田 誠一
	団 体	江東区カヌー協会	小宮 次夫
		江東区の水辺に親しむ会	須永 俣子
		和船友の会	根本 明洋
		旧中川灯籠流し実行委員会	江頭 正恭
		小松川平井地区連合町会	谷川 貞夫
江戸川区ボート協会		渡辺 秀朗	
		所 属 ・ 職 名	氏 名
行 政 委 員	墨田区 都市整備部 道路公園課長	田中 正明	
	江東区 土木部 水辺と緑の課長	高垣 克好	
	江戸川区 土木部 計画課長	立原 直正	
	東京都環境局 自然環境部 水環境課長	小林 幹明	
	東京都下水道局 東部第一下水道事務所 ポンプ施設課長	石黒 雅春	
	公益財団法人 東京都公園協会 水辺調整課長	園尾 学	
	東京都建設局 河川部 計画課長	舛原 邦明	
	東京都建設局 河川部 河川管理制度担当課長	若井 太郎	
	東京都第五建設事務所 管理課長	橋本 春彦	
	東京都江東治水事務所 内部河川工事課長	内野 祐彰◎	
東京都江東治水事務所 水門管理課長	北島 義文		

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

担当：高木、木村

TEL：03-5875-1565

Email-address：S0200225@section.metro.tokyo.jp